

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	活動内容によってテーブルや座位保持等の場所を変え、スペースを確保している。	学校休業日の際は同じ時間に多くの児童が集まるため、活動スペースを分ける等の工夫をして十分なスペースが確保できるように努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	法令で定められている人員配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	集合場所にカラーテープを張ったり、開けてはいけない棚や入ってはいけない場所には札をかけたし、見てわかりやすいように配慮しています。	配慮していけるように日々努めているも、まだ不十分な部分もあるので職員同士で情報交換をしながら適切にしていけるように今後も努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	感染予防のため、常時換気をしたり、使用したものはその都度消毒を行っています。	感染症対策も含め、清潔に努めているが活動内容によっては十分な活動空間になっていない部分もあるかと思う為、今後も改善に努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	定期的に会議を実施し、業務の見直し、改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		評価表による貴重なご意見を日々の業務に活かせるよう、職員間で共有し、改善につなげてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	年に一度ホームページにて公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		現在、第三者による評価を実施できていないため、検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	定期的に事業所内で研修を行っています。	コロナウイルス感染拡大の為、外部の研修に参加できずにいました。今後はオンライン研修等に参加できるように検討していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	年に一度アセスメントを行い、変更等の確認をしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	アセスメントシートを活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	職員間で支援会議を行い、適切な支援を実施していけるよう内容を設定をしている。支援内容は保護者にも児童にもわかりやすい心がけております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	個別支援計画を全職員が確認をし、療育を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当者が中心となり、話し合いを行い立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	毎月担当者を中心として話し合いを行い、季節の行事や制作等を取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	個別支援会議を実施し職員間で意見交換、情報共有を行い作成している。	必要に応じて個別活動や小集団活動を分けて行っております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	食事介助、リトム記入者等、その日の役割分担を職員全員が把握できるようにしている。	支援開始前に時間が足らず、情報を全て共有できていない時があるため、ホワイトボードやノートを活用して改善していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	終礼時に振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	支援終了後は記録を記入し、子どもの様子を職員間で共有しております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年に一度モニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	必要に応じて各関係機関との連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5		医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	保護者の方からのニーズがあった場合に、所属園への訪問等の情報共有を行っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	御家族様を通じて、または電話等でのやり取りでどのような支援を提供しているか等の情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		ZOOMを活用し、参加できるような研修があれば積極的に受講していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		感染症対策の考慮もあり、機会が少なかった為、予防に努めながら活動機会を増やしていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		ZOOMを活用し、参加できるような研修があれば積極的に受講していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	リムや電話、ご自宅への送迎時などに情報共有しています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		ご相談があった際に対応させていただいています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	ご契約の際に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	個別支援計画書を作成し御家族様に提示し同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時やお電話等で相談があった場合は対応しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		年に一度は保護者会が開催できるよう整備していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	管理者を中心に相談、申入れの対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	季節毎に通信を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報に関して、鍵付き書庫に保管をしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	児童の特性に合わせた対応を心がけています。	特性に合わせ、絵カード等をを使って意思疎通が図られよう配慮していきます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		保護者様の意向に沿って開催を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	事業所内に掲示しています。	マニュアル等が保護者の方にも周知できるよう工夫していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	半年に一度避難訓練を実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	御家族様からの情報、連絡を基に職員間で情報共有を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		医師の指示書に基づくものではございませんが、御家族にアセスメント時に伺ったアレルギーに関しては、アレルギー一覧表を掲示し対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		事故防止、再発防止に努めてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に虐待防止研修を事業所内で行っております。	今後はZOOM等を活用し、外部の研修にも参加できるように検討していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	身体拘束(座位保持や車いす等)を行う児童に関しては、個別支援計画に記載をし、御家族に説明、了解を得て行っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	活動内容によってテーブルや座位保持等の場所を変え、スペースを確保している。	学校休業日の際は同じ時間に多くの児童が集まるため、活動スペースを分ける等の工夫をして十分なスペースが確保できるように努めて参ります。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	法令で定められている人員配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	集合場所にカラーテープを張ったり、開けてはいけない棚や入ってはいけない場所には札をかけたし、見てわかりやすいように配慮しています。	配慮していけるように日々努めているも、まだ不十分な部分もあるので職員同士で情報交換をしながら適切にしていけるように今後も努めていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	感染予防のため、常時換気をしたり、使用したものはその都度消毒を行っています。	感染症対策も含め、清潔に努めているが活動内容によっては十分な活動空間になっていない部分もあるかと思う為、今後も改善に努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	定期的に会議を実施し、業務の見直し、改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		評価表による貴重なご意見を日々の業務に活かせるよう、職員間で共有し、改善につなげてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	年に一度ホームページにて公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		現在、第三者による評価を実施できていないため、検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	定期的に事業所内で研修を行っています。	コロナウイルス感染拡大の為、外部の研修に参加できずにいました。今後はオンライン研修等に参加できるように検討していきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	年に一度アセスメントを行い、変更等の確認をしています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	アセスメントシートを活用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	職員間で支援会議を行い、適切な支援を実施していけるよう内容を設定をしている。支援内容は保護者にも児童にもわかりやすい心がけております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	個別支援計画を全職員が確認をし、療育を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当者が中心となり、話し合いを行い立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	毎月担当者を中心として話し合いを行い、季節の行事や制作等を取り入れています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	個別支援会議を実施し職員間で意見交換、情報共有を行い作成している。	必要に応じて個別活動や小集団活動を分けて行っております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	食事介助、リトム記入者等、その日の役割分担を職員全員が把握できるようにしている。	支援開始前に時間が足らず、情報を全て共有できていない時があるため、ホワイトボードやノートを活用して改善していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	終礼時に振り返りを行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	支援終了後は記録を記入し、子どもの様子を職員間で共有しております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年に一度モニタリングを実施し、個別支援計画書の見直しを行っています。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	3	必要に応じて各関係機関との連携をとっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5		医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5		医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	保護者の方からのニーズがあった場合に、所属園への訪問等の情報共有を行っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	御家族様を通じて、または電話等でのやり取りでどのような支援を提供しているか等の情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		ZOOMを活用し、参加できるような研修があれば積極的に受講していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		感染症対策の考慮もあり、機会が少なかった為、予防に努めながら活動機会を増やしていく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		ZOOMを活用し、参加できるような研修があれば積極的に受講していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	リムや電話、ご自宅への送迎時などに情報共有しています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		ご相談があった際に対応させていただいています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	ご契約の際に説明を行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	個別支援計画書を作成し御家族様に提示し同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時やお電話等で相談があった場合は対応しております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		年に一度は保護者会が開催できるよう整備していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	管理者を中心に相談、申入れの対応を行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	季節毎に通信を発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	個人情報に関して、鍵付き書庫に保管をしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	児童の特性に合わせた対応を心がけています。	特性に合わせ、絵カード等を使って意思疎通が図られよう配慮していきます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		保護者様の意向に沿って開催を検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	2	事業所内に掲示しています。	マニュアル等が保護者の方にも周知できるよう工夫していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	半年に一度避難訓練を実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	御家族様からの情報、連絡を基に職員間で情報共有を行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		医師の指示書に基づくものではございませんが、御家族にアセスメント時に伺ったアレルギーに関しては、アレルギー一覧表を掲示し対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		事故防止、再発防止に努めてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	定期的に虐待防止研修を事業所内で行っております。	今後はZOOM等を活用し、外部の研修にも参加できるように検討していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	身体拘束(座位保持や車いす等)を行う児童に関しては、個別支援計画に記載をし、御家族に説明、了解を得て行っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。